



# 令和4年度東鶴嶺地区市民集会在が 3年振りに開催されました



8月27日に鶴嶺東地区市民集会在が鶴嶺東コミュニティセンター大会議室で開催されました。コロナ禍で3年ぶりの開催となった今回の市民集会在では、テーマの絞り込みと参加者の人数制限をはじめとして15名が参加し、市民側から地区内の自治会長をはじめとする47名の参加がありました。テーマは、鶴嶺東まちぢから協議会で全部会共同事業として「子どもの見守りについて」とし、テーマ①「鶴嶺小学校前横断歩道問題」と、テーマ②「浜之郷小学校横断歩道脇電柱」について現状の説明と問題解決に向けた要望が出され、それに対する市側の回答がありました。

『どうやったら出来るか』について考えるフェーズに入っているという考えが示されました。【テーマ①】鶴嶺小学校前横断歩道問題  
現状について、青少年育成推進協議会会長の山上氏が説明を行いました。問題となっている横断歩道は、富士スーパーと鶴嶺神社太鼓橋の間にある信号がある横断歩道です。鶴嶺小学校は千人を超える児童が通うマンモス校となっていて、この横断歩道を全校生徒の半数を超える約六百人の児童が利用しています。一度に横断できるのは20〜30人程度ですが、信号待ちをする十分なスペースもなく、横断歩道の前後で歩道の幅が狭くなる所では長蛇の列ができ、通り抜ける自転車とのすれ違いも危険です。南門の手前にも横断歩道があり、脇道からは車や歩道に侵入する自転車も出てきます。雨の日はさらに見通しが悪く、一度に横断できる人数も減ります。参道からの右折車も、歩行者信号の点滅まで曲がれないため、参道の渋滞や無理に右折しようとする車も見受けられます。地域の見守り活動をしている方々が日々尽力してくれていても、防ぐことが出来なかった事故も発生しています。

濱之郷小学校にはPTAがなく、見守り活動は地域の自治会、老人会、校外委員が行っていますが、正門前の見守りについては登校時に校長先生が行っているのが現状です。また、通学路にはなっていないものの、この横断歩道から東側の道は一部細くなっています。すれ違い待ちの車列ができ、交通量が多いときは、この車列が横断歩道まで及ぶこともあります。将来的に、道路の幅が望まれますが、今度車は車のスピードが増すことも懸念されます。市の責任者からは、東京電力に相談したところ、東側に2メートル移動することは可能だが、移設のデメリットとして、この電柱に付いている防犯灯が横断歩道から離れてしまうこと、電柱には車止めの役割もあること、照明による移動先近くの稲への影響が懸念されることが説明されました。今後も引き続き、協議していきたいという回答でした。

限られた時間の中でしたが、参加者からの発言もありました。事故が起こってからは遅いとも早急な対応を求めものや、長年の要望なのに解決に繋がる回答が得られないというもどかしさが滲む訴え、子どもの頃に問題の横断歩道で事故に遭いかけたという体験談、ハード面の解決が難しいならスクールバスを走らせてはどうかというアイデアなど、様々な意見が交わされました。

最後に、教育長からは、市民集会的のテーマを「子どもの見守り」にして、地域の方々が熱心に取り組んでいることに感謝したい、また、通学以外でも子どもの危険はあり、子ども自身が自分を守る力を付けることも必要だと伝えていきたいという言葉がありました。佐藤市長は、もともと市民に寄り添った回答ができるように、今後も地域と行政の連携は欠かせないとの認識を示されました。

茅ヶ崎市では、30代〜40代の子育て世代の人口が増加傾向にあり、今後も「子どもの見守り」が重要となってきます。地域と行政が協力して取り組むべき課題であることを共有し、閉会しました。

## 令和4年度 全部会共通事業

### 全部会共通テーマ

昨年よりの「子どもの見守り」活動の継続  
各自治会で多くの皆さんによる、児童、生徒の登下校の見守り活動が行われています。  
今年度も出来る時間で、出来ることをお願いいたします。  
子ども達から元気をもらいましょう。

今年度は当地区の「子どもの見守り活動」を全面的に展開するための重要な年です。この為、次にあげることを実施していく予定です。

- 鶴嶺東地区の通学路点検を危険箇所・リスク分類など統一した基準で実施します。
  - 「子どもの見守り活動」の体制がまだ不十分な地区の整備に着手します。
  - 今年度も市の特定事業申請を行います。
  - 通学路危険箇所のうち鶴嶺神社前交差点における児童の安全確保の為に本質的改善に向け、客観的データの収集を行い、改善策などを含め行政・関連機関へ要望を行います。
- ### 報告事項
- 見守り旗の各行配布と見守り活動についての情報交換各校にそれぞれ10本配布
  - 鶴嶺東地区の「子どもの見守り活動実情調査報告書」を作成
  - 市の特定事業報告書、調査報告書を市民自治推進課に提出

## 防災減災部会

部会長 吉原弘子

コロナ感染防止対策で二年間鶴嶺東地区としての活動がほとんど出来ませんでした。今年度は少しずつではありますが、地域の皆さまが元気に笑顔で、顔が見える自助と共助に近助の力を加えた活動をして行きたいと思えます。

◆ 合同防災訓練の実施  
何年振りかの合同訓練実施  
11月13日(日)地区内七箇所の小中学校の、防災拠点にて分散実施を開催予定です。  
自治会ごとに避難所別名簿、連絡網、要配慮者の安否確認をして行きたいと思えます。  
※コロナの状況により変更の場合があります。  
◆ 感震ブレイカー設置促進  
各自治会のご協力を得て、数多くの設置が得られています。今年度も推進していきたいと思えます。ですのでよろしく願います。

## 環境安全部会

部会長 高橋里幸

環境安全部会は、大きく二つのテーマに取り組みます。安全という切り口では、前年度に引き続き、まちぢから協議会全部会共通のテーマとなっている「子どもの見守り」の一環として、昨年度の調査で危険個所に位置付けられた鶴嶺八幡宮前交差点附近の通学路の改善に向け、実態を明らかにし、関係機関等へ改善を要請すること、協議会として改善策の検討の材料とすることを目的に、交差点を横断する児童数、通過車両数などの計測をはじめとした客観的データの収集や、改善策の検討に取り組みます。

また、環境という切り口では、私たちの生活に密接に関わっているごみ問題について、不適正排出字境におけるごみ集積場所の管理等のあり方のほか、本年四月のごみ有料化以降で明らかになっている諸課題に対し市関係部局と連携しながら改善に向け検討します。

いずれのテーマに対しても、「倦まず弛まず」を基本として、できることを積み重ねて着実に成果に繋がられればと考えています。

## 青少年育成部会

部会長 山上壽子

青少年育成部会は、地区内3学区(円蔵・鶴嶺・浜之郷)推進協が中心となり子ども安全、見守りなどの情報交換ならびに課題について話し合いを行っています。学区ごとPTA、子ども会の有無、見守り活動の組織化など実情は様々であることや、部員にも学区の偏りがあって東地区としての活動が難しい状況にあります。それでも子育て現役世代の方々が時間を作って部会に参加してくださり、保護者の目線で見えた地域の課題や情報の共有を図ることに意義があると感じています。

今年度の市民集会のテーマ「通学路の課題」について今後も問題点・危険箇所の洗い出しをしていきたいと思えます。

## 高齢者活性部会

部会長 小泉兵蔵

区域高齢者のメンバーで構成される部会です。今、各地域の会はコロナ禍によって活動に制限が加わるとともに休会中の組織が多いのが実情です。またコロナ禍対策にはマスク着用、手洗いと換気の基本的予防を取り入れる「二方で「児童見守り」活動を継続しています。

このような背景の中、部会活動として推進するメンバーで意見交換を行っています。地域や学区の環境には違いは大きく、「児童見守り」にあたっての課題や条件に求められる対応には、ともに思いが異なっていることが共有できました。部会活動の一元化は難しく現行の活動に沿って活動せざるを得ないのが実態と思えます。コロナ禍が収束し日常生活に戻ることを願っております。

## 地域福祉部会

部会長 野村幸江

高齢化社会に伴い、認知症の方が地域で安心して暮らせる為に何が出来るかを考え、今年度の部会活動は、認知症サポーター養成講座を通して、認知症の理解を深め見守り等に繋げていく事にしました。その為にどの様に多くの人に広めていくかを考え一年間取り組んでいきたいと思えます。まず、六月に地域福祉部会員が、認知症サポーター養成講座を受講しました。

# 「地域の子どもは地域で守る・育む、 地域も子どもと共に育つ」

「地域の子どもは地域で守る・育む、地域も子どもと共に育つ」の理念のもとに鶴嶺東地区まちぢから協議会は鶴嶺東地区の小・中学生を対象とした「子どもを見守る活動」を昨年7月から開始しました。

今年度も協議会の全部会共通事業として、当該地区の「子どもを見守り活動」を全面的に展開する重要な年と位置付け、継続実施していきます。ところで、全部会共通事業とは、当協議会に設置された防災・減災、環境安全、高齢者活性、地域福祉、青少年育成の5つの部会が一丸となり、共通に行う事業のことです。

昨年度は、全部会を挙げて当学区の見守り活動調査を行い、その結果を「鶴嶺東地区の子どもの見守り活動実情調査報告書」としてまとめました。

また、市の認定コミュニティへの特定事業財源を活用して作成した見守り旗を自治会を通じて見守り活動参加の方々や地域の皆様へ配布するとともに、各校への贈呈と見守り活動について情報交換も行いました。見守り旗は子どもたちにも好評です。

一方、地域でも自宅付近に見守り旗を掲揚する光景を見ることができるようになり、少しずつですがこの活動が浸透し始めています。下の写真は掲揚の一例です。



今年度は当地区の「子どもの見守り活動」を全面的に展開するための重要な年です。このため、次にあげることを実施していく予定です。

写真は鶴嶺神社前交差点での通学風景です。大勢の児童がわずか30分足らずの間に、この横断歩道を利用して登校しています。朝の通勤時間帯の車と重なるため、車の不注意による事故のリスクは非常に高く、何か起きてからの対応ではすまされません。

そこで、鶴嶺神社前交差点における学童の安全確保のための本質的改善に向け、客観的データの収集を行い、様々な機会を通じて、改善策などを含め行政・関連機関へ要望を行います。鶴嶺東地区の通学路点検を危険箇所・リスク分類など統一した基準で実施します。

「子どもの見守り活動」の体制がまだ不十分な学区の体制整備に着手します。

最後に、「子どもの見守り活動」が地域に浸透するには時間がかかりますが、着実に前進させていきたいと思っております。また、こうした活動を見て育った子どもたちの中から次の担い手が育ってくれることを切に願っております。



令和4年度 鶴嶺東地区まちぢから協議会 役員・部会長名簿

会長	森谷 義明	鶴嶺東地区自治会連合会会長
副会長	尾坂 清	鶴嶺東コミュニティセンター長
副会長	粕谷 勉	鶴嶺東地区自治会連合会副会長
副会長	木下 操	鶴嶺東地区民生委員児童委員協議会会長
書記	内藤 一夫	下町屋自治会会長
書記	山上 壽子	鶴嶺小学校区青少年育成推進協議会会長
会計	野村 幸江	鶴嶺東地区社会福祉協議会会長
監事	杉村 一憲	TBS自治会会長
監事	山口 正明	真寿会会長
防災減災部会長	吉原 弘子	TBS自治会防災リーダー
環境安全部会長	高橋 里幸	円蔵自治会副会長
青少年育成部会長	(未定)	
高齢者活性部会長	小泉 兵蔵	浜之郷第二鶴寿会代表
地域福祉部会長	野村 幸江	鶴嶺東地区社会福祉協議会会長
広報部会長	西江園 裕子	ホームタウン茅ヶ崎自治会会長

鶴嶺東地区  
**合同防災訓練**

鶴嶺東地区まちぢから協議会  
鶴嶺東自主防災連合会  
会長 吉原弘子

区域内の全災害対策地区防災拠点を利用し  
各自治会が同じ日に一斉に実施する予定です。

■ 期日 ■ 11月13日(日) 9時〜12時

■ 場所 ■ 各自治会一時避難場所

- 鶴嶺小学校 (浜之郷)
  - 鶴嶺中学校 (矢畑)
  - 浜之郷小学校 (西久保)
  - 円蔵中学校 (円蔵)
  - 鶴が台小学校 (円蔵)
  - 鶴が台中学校 (円蔵)
- ( ) 内は幹事自治会

※円蔵小学校は運動会の雨天時予備日と  
重なる為使用しません。

■ 訓練内容 ■

- ① 自治会ごとの安否確認(要配慮者含む)
- ② 情報伝達訓練 安否確認のまとめをトランシーバーを用いて拠点校へ報告
- ③ 配備職員との顔合わせ・意見交換
- ④ 避難所内防災倉庫の資機材見学と確認

新型コロナウイルス禍により、右記訓練内容を変更することがあります。昨年度、合同訓練は中止しましたが5自治会が独自に安否確認などを実施しました。



編集後記

梅雨寒に震える2匹の子猫を保護しました。飼うことになったものの、猫対応してない我が家。部屋が片付くのが先か?猫の成長が先か?!  
現在猫優勢!!

鶴嶺東地区  
まちぢから協議会  
広報部会  
西江園裕子  
仲原順子

NEW  
ホームページ  
お引越ししました

鶴嶺東地区まちぢから協議会の最新情報をご覧ください

茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会

ホームページで鶴嶺東地区をクリック  
<https://chigasaki-machiren.org/>



鶴嶺東地区まちぢから協議会

事務局  
〒243-0292 茅ヶ崎市下町屋1-1-1  
鶴嶺東コミュニティセンター  
TEL: 0463-82-1111  
FAX: 0463-82-1112  
E-MAIL: machi-jikara@chigasaki-machiren.org

協賛  
茅ヶ崎市 鶴嶺東地区まちぢから協議会  
協賛  
茅ヶ崎市 鶴嶺東地区まちぢから協議会